

NHKラジオの全国放送で「浪曲・虎造節」のことがとりあげられた。反響は大きく、放送直後から、「虎造節のカラオケDVDを入手したい」、「虎造節保存会に入会したい」という電話やメールが届いた。

八木健が三年前に創立した「虎造節保存会」はNPO法人として認可されている。虎造節日本一を決める全国大会を浅草の木馬亭で開いて、すでに二人の日本人が誕生している。そして二人は、このほど「平成の虎造」として「廣澤」の苗字を襲名することが出来た。この時点でのラジオ出演である。「古谷アナ」今お聞きいただきたい。第二代廣澤虎造はいまでも多くのファンがいて、保存会も出来て活発に活動しています。保存会の創立者の八木健さんに聞いてみましょう。まず 廣澤虎造の活躍

の 健 木 八 笑える 五七五

× ハイアート・センリュウアート

読者投句 info@kainanweb.com
件名「海南タイムズ・笑い 投句」で送信



したのはいつ頃なのでしょう？

【八木創立名誉会長】 第二代の廣澤虎造は、大雑把に言えば、戦前から戦後にかけて活躍しました。ラジオの登場とともに全国に声がとどいて人気ができました。昭和三十九年に六十五歳で亡くなりました。今、ご存命だとしたら 百十五歳になります。

【古谷アナ】 大変に人気だったようですね。

【八木】 昭和二十七年の芸能人の人気投票で第一位、第二位は美空ひばりでした。昭和十二年に五千人収容と東洋一浅草の国際劇場で公演したときは 四日間、昼夜興行で四万人が「虎造節に酔った」という記録があります。ラジオ放送があるときは銭湯が「カラ」に

なったのでした。

【古谷アナ】 その人気の秘密、魅力は何処にあるのでしょうか？

【八木】 浪曲は「二声、二節、三啖呵(たなか)」といいます。虎造師匠全てが絶品だったのです。ですから「虎造の前に虎造無し、虎造の後に虎造無し」と言われました。まさに不世出の浪曲師だったのです。まず「声」の響きが良かった。声で酔わせたのです。

【節】 ですが、虎造は関西で修行して「低い唸り」を特徴とすめ「関西節」を覚えて東京に戻り「甲高い華やかさ」のある「関東節」を習得したので深みと幅のある語りができたのです。それら虎造は「声」が小さかった。小さな声ですから、息が長く語ることができました。息長く語れたので抑揚が自在にできたのです。しかも、虎造師匠は普段の会話の声と、口演の声とが同じでした。それは浪曲的なつくり声ではなかった。ということですね。聴く者の耳に自然に伝わったのです。

【古谷アナ】 確かに浪曲は「張り上げて語りますね、虎造さんはそこがほかの浪曲師と異なる点ですね。」「啖呵」も巧かったのですね。

【八木】 口が良く回った。滑舌がいい。NHKのアナウンサーでも、とても太刀打ちできない、三拍子そろっていたからこそその芸で

す。虎造の芸は語り芸の最高峰ということ、NHKのアナウンサー養成に「石松三十石船道中」が使われているのです。松山の南海放送の松岡宏忠アナウンサーは、NHKの放送研修所で研修を受け、研修終了のときに秋山隆講師から虎造のカセットテープをプレゼントされていきます。松岡さんはNHKの入社試験に合格したのですが単位がたりなくて卒業できず、翌年南海放送に入社しました。話が横道にそれましたが、虎造の語り芸を聞いてアナウンサーを目指したのはまず虎造の二男の山田二郎さん、この方はNHKの佐賀放送局に赴任、しばらくしてTBSに引き抜かれてスポーツ中継で名をなしています。私もNHKのアナウンサーになりましたが虎造を聞いて育ったことと無縁ではありませぬ。

【古谷アナ】 虎造節保存会を立ち上げたのはどのような動機でしたか。

【八木】 虎造節をラジオで聴いた年代は七十歳ぐらいまででもその方々は高齢化しています。虎造の浪曲口演CDは残っています。が、語り継ぐことで虎造が生きたかたちで保存できると考えたのです。実際、どこに家庭にも「浪曲大好き」な爺ちゃん、婆ちゃん。お父さんがいて聴っていました。どこのお宅にもSP

レコードがあって擦り切れるほど聴いて楽しんだのです。虎造節保存会を作って、虎造節の魅力を体感してこそ虎造節を末永く保存できると考えたのです。

【古谷アナ】 虎造節の絶滅をストップしたいということですね。

【八木】 その通りです。絶滅危惧種だったのです。

【古谷アナ】 保存会をつくったのは「凄」いことですね。

【八木】 まず誰でも聴れるように、三味線を弾いてもらい字幕をつけました。カラオケ DVDです。これを使って練習できる。口演できる。このカラオケを全国の虎造ファンに送って、保存会を結成しのです。

【古谷アナ】 全国の虎造ファンが楽しんでいるのですね。

【八木】 虎造節は聴く者を酔わせますが、唸ってみると、自分に酔えるのです。そこが素晴らしいのです。虎造節保存会のホームページがありますので一度覗いてください。

【古谷アナ】 丁度時間となりました。

旅行はああ 駿河の国にゆけぬ

茶のかおりぬ

廣澤虎造

